

# 浪江町農業再生プログラム実施状況報告 ～平成29年3月の帰還開始に向けて～

浪江町地域農業再生協議会

平成27年3月



# 1) 農地保全・農地の集約化

## 【農地保全】

平成26年度：酒田で復興組合による保全活動が開始

高瀬・立野でも復興組合が設立

平成27年度：今後除染の進行とともに保全の活動を拡大して

いく予定であるため、組合設立の支援を進める

## 【農地の集約化】

平成26年度：酒田地区では農家が36軒あったが、現在9軒の

農家で地区の農地を保全している

震災前の経営面積 2.8ha/経営体

今年度の保全面積 6.8ha/経営体

平成27年度：地域の農地保全の実情を踏まえて将来的な農地の

利活用と集約について復興組合と意見交換を行う



## 2) 農業用施設整備

### 【ダム・基幹水路復旧】

平成26年度：29年度に南相馬（小高）へ給水開始の目標を設定  
ダム本体の復旧及び普及部分の除染を開始

平成27年度：南相馬（小高）方面への用水路の修復を開始



### 【農協施設復旧】

平成26年度：施設復旧整備計画方針を作成  
浪江町内で自動ラック式低温倉庫の  
設置について検討

平成27年度：倉庫の設置場所等計画の具体化に  
向けた検討を行う



### 3) 実証栽培・担い手の育成

#### 【実証栽培】

平成26年度：水稲・麦・景観作物・野菜・花卉について  
試験・実証を実施

平成27年度：取組の継続と拡大を目指す

#### 【担い手の育成】

平成26年度：農業委員会、認定農業者、復興組合  
浪江町農業農地を考える会等の  
農業者と意見交換を実施した

平成27年度：双葉農業普及所とJAふたばと町が連携し、  
認定農業者等帰還後の中心となる農業者の  
掘り出しと意見の収集を行う



# 平成26年度の取組（水稻）

酒田地区で震災後初の作付を実施

コシヒカリ 7反（3630kg）

天のつぶ 6反（3180kg）

○ 風評被害対策のためのイベントPR

経済産業省・環境省・東北農政局・東京大学等の食堂  
で試食会の開催等を実施

○ 日本酒への加工

山形に避難中の鈴木酒造に委託し試験栽培でとれた米  
を使った「希」「望」を製造、常磐道開通イベントや  
実証栽培協力者に記念品として寄贈



# 平成26年度の取組（土地利用型作物等）

## ○ 小麦の試験栽培

避難指示解除後に農地保全から管理耕作へ移行していくために、水を活用しない麦について試験栽培を実施中

酒田 ゆきちから 2反4畝

※中華麺用の品種



## ○ 景観作物の取組

除染後農地の地力回復と地域の景観形成のために、景観作物の取組みを実施

酒田 コスモス 5反

れんげ草 1町4反

菜種 1町7反



# 平成26年度の取組（野菜）

幾世橋地区で浪江町営農再開をめざす会が平成25年度から継続で野菜の試験栽培を実施。制限品目4種類、非制限品目8種類について安全確認の取組を行った

## ○ 町内での野菜の安全確認

### 制限品目

結球性葉菜類（ハクサイ・キャベツ）・非結球性葉菜類（ホウレンソウ）アブラナ科花蕾類・カブ

### 非制限品目

ジャガイモ・ネギ・ニンニク・カボチャ・キュウリ  
ナガイモ・ニンジン・ダイコン

栽培野菜は全て検出限界点以下

ダイコン・ネギ・ニンジンについて  
県の公式モニタリングを実施



# 平成26年度の取組（花卉）

## 【幾世橋地区で花卉の実証栽培】

トルコギキョウと耐寒性花卉の通年栽培の実証

8月6日に東京大田市場で震災後初出荷

### ○ 記念品としての活用

成田市、小田原市等の支援自治体の首長が訪問の際にトルコギキョウの花束を贈呈

### ○ 花卉配布イベントの実施

B1グランプリ併設の観光物産展にて避難農業者と花卉の配布イベントを実施

### ○ イベントでの活用

ローソンオープンイベントや常磐道開通イベント会場での飾り付けとして活用

